

# 2015年7月 メディカルはこだて第55号 掲載

## 『がん相談支援センター 開設』

### 函館中央病院は「がん相談支援センター」を開設 がん患者や家族の悩みに真摯に向き合いサポートする

田中 博光 氏 函館中央病院  
医療福祉相談課課長

小口 修 氏 函館中央病院  
医療福祉相談課主任

岡田 吉広 氏 函館中央病院  
医療福祉相談課

函館中央病院（橋本友幸病院長）は、5月1日総合医療支援センター内に「がん相談支援センター」を開設した。がん相談支援センターは、これまで全国の「がん診療連携拠点病院」に設置されてきた「がんの相談窓口」だ。患者や家族などに、がんに関する情報を提供したり、がんの治療法や療養生活全般の質問・相談に対応している。

同病院は昨年4月1日付で、北海道が指定する「北海道がん診療連携指定病院」として、道南圏では初めて北海道知事の指定を受けた。道南地区では「がん診療連携拠点病院」として、市立函館病院と函館五稜郭病院の2病院が指定さ

れているが、「北海道がん診療連携指定病院」はそれに準ずる中核病院と位置づけられている。同病院の年間総手術件数は約4500件で、がん手術は600件以上に達している。さらに、抗がん剤の化学療法は通院の外來化学療法を中心に年間3000件にもなるなど、がん診療の実績は道南の病院の中でも上位の成績を誇っている。

悩みや不安を解決するため一緒に考えて考える  
がん相談支援センターは北海道がん診療連携指定病院にとっても重要な役割の一つである。新たに開設したセンタ

ーでは、がん患者や家族の相談窓口となり、一人ひとりの話を聞きながら、その人らしい生活をするためのお手伝いをする。相談窓口のスタッフは医療福祉相談課の3人の医療ソーシャルワーカーが担当するが、相談の際には医学用語や外來語などの難しい言葉や表現を出来る限り使わない丁寧な説明に努めている。

「がんと診断されると、驚くと同時にさまざまな不安や心配なことがたくさん頭に浮かんできて、どのようにしたらよいのかわからなくなる」とありますが」と医療福祉相談課課長の田中博光さんは話す。これまでも総合医療支援センターではセカンドオピニ

んのお話をたくさん聴かせて頂きたいので、いつでも気軽にご利用ください」と話す。

がん患者同士が語り合う  
がんサロン「ほっと」

がん相談支援センターの開設と同時に、がんサロン「ほっと」も設けられた。サロンはがん患者同士が療養生活上の悩みや不安を自由に語り合う場だ。同病院では以前、化学療法の通院患者にアンケートを実施した。がんサロンをサポートしている医療福祉相談課主任の小口修さんは「アンケートでは、悩みや不安を打ち明けることができるサロンのような場所が必要という意見が多くありました」と教えてくれる。がん患者には家族や仕事、社会との関わりなどいろいろな悩みがあるが、同じ境遇の人に話を聞いて欲しいと考えている人は多い。

サロンの参加者には個人情報等の守秘義務を徹底。また、参加者のニーズに合わせたミニレクチャーやイベントなど



写真右から医療福祉相談課長の田中博光さん、医療福祉相談課主任の小口修さん、医療福祉相談課の岡田吉広さん

も予定している。当面は参加対象を同院で治療を受けている患者に限定するが、将来的には地域に開かれたサロンにしていく予定。小口さんは「サロンはがん患者さんのコミュニケーションを応援する場所です、私たちはその進行のお手伝い係です。サロンもいろいろな形態がありますが、患者さんが悩みや不安、苦しみを存分に語れる場所があるというところをアピールしていきたい」と抱負を語った。

#### がん相談支援センター

中央棟 1階 総合医療支援センター内  
月～金 午前9時から午後5時  
土 午前9時から午後1時

#### がんサロン「ほっと」

毎月第3金曜日 午後2時から午後4時  
東棟 6階 多目的室

※参加を希望する場合は、事前に「がん相談支援センター」へ連絡をすること。